

## 1. 玖珠家畜市場における子牛の市場性向上に係る取り組み

玖珠家畜保健衛生所<sup>1)</sup>・大分家畜保健衛生所<sup>2)</sup>

○飯田 賢<sup>1)</sup>・病鑑 安達 恭子<sup>2)</sup>・羽田野 昭<sup>1)</sup>  
吉田 秀幸<sup>1)</sup>・(病鑑) 吉武 理<sup>1)</sup>

玖珠家畜市場の子牛平均販売価格は、平成 19 年 1 月の 514,437 円をピークに年々下落し、本年 10 月市場では 310,154 円と、長期にわたり全国で下位に甘んじている。

このような中、「安全・安心」な商品を販売する市場づくりに着目し、販売時に子牛の生産履歴を添付することによる「情報提供の充実」と、特定疾病に対する見舞金制度の創出による「アフターサービスの充実」を図り、市場価格向上の一助とするための取り組みを関係機関とともに始めたので、その概要を報告する。

### 【取り組みの背景】

これまで、市場販売時の飼料給与履歴、治療歴の添付が必要最低限であり画一的。

管内の肉用牛肥育農場において、導入時の血中ビタミン A 濃度の測定を行う中で、導入牛の血中ビタミン A 濃度に大きなばらつきが認められ、導入時の投与量の算定に苦慮。

同様に、多頭購買県の獣医師より、子牛市場出荷時の血中ビタミン A 濃度を把握もしくは一定水準にしてもらいたい旨の要請。

また、原因が繁殖農家、肥育農家の何れかに関わらず、肥育農家にとって大きな損失となる疾病の散発と、風評被害による購買者の市場離れの懸念。

### 【取り組みの内容】

1. 生産履歴表示カード：H農協管内で勉強会を開催、大規模肉用牛繁殖経営 2 戸を選定。市場出荷牛について、市場開催日の 10～14 日前に採血を行い、ビタミン A、ビタミン E、GOT、GGT、BUN、CRE、TCHO、Ca、IP を測定。農場にて確認した飼料給与歴及び治療歴とともに、生産者家族の写真を添えてカードを作成、購買者へ情報提供。

2. 特定疾病に対する見舞金制度の創出：管内各市町、各 JA、振興局、全農県本部による見舞金制度検討委員会を組織。月 1 回の会議を開催するとともに、検討内容は各組織に持ち帰り協議。

### 【成果と今後の取り組み】

生産履歴表示カードについての購買者の反応は概ね良好であり、肥育前期の飼養管理の参考、食肉として販売する際に「顔の見える商品」としての有利販売に期待が持てる等の意見が得られた。生産者については、自身の飼養管理の見直し、購買者からの給与飼料に対するアドバイスが得られる等、「商品としての子牛」を意識した飼養管理を心がけるようになったとの意見が得られた。

見舞い金制度については、当地域の取り組みが契機となり、県下の家畜市場で、平成 22 年度からの取り組みが決定。

生産履歴表示カードについては、今後、対象農家を増やすとともに、検査費用がかさむ等あることから、JA 単位での取り組みとして市場全体に広げ、事業化を見据えた取り組みとしたい。